



2024年9月30日

マツダ、「国際福祉機器展 H.C.R.2024」に CX-30 Self-empowerment Driving Vehicle を参考出品

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、10月2日(水)～4日(金)に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される、世界の介護・福祉機器を一堂に集めた国際展示会「第51回 国際福祉機器展 H.C.R.2024」(主催:全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会)に、手動運転装置付き「MAZDA CX-30 Self-empowerment Driving Vehicle(セルフ エンパワーメント ドライビング ビークル)」(以下、CX-30 SeDV(エス イー ディー ヴィ))を参考出品します。また、「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle(以下、MX-30 SeDV)などを出品します。



「MAZDA CX-30 SeDV」(参考出品車)

「MAZDA MX-30 SeDV」

SeDVは、お客さまが自分の意志で移動し、行動することをサポートする選択肢の一つとしてご提案する、手動運転装置を搭載したモデルです。

今回参考出品する「CX-30 SeDV」は市販を予定しており、2021年に発売した「MX-30 SeDV」同様、手で直感的に加減速を行う「アクセルリング」と「レバーブレーキ」を採用し、意のままに操れる手動運転を実現。また、手動運転操作と通常のペダルによる運転操作の選択が簡単に行え、ご友人やご家族と運転を交代するなど、運転システムを切り替えてのドライブもお楽しみいただけます。

マツダブースでは、車両展示のほか SeDV の運転が疑似体験できるドライビングシミュレーターも展示し、実際にご自身でその操作感をご確認いただくことができます。また、パラアスリートの方とのトークセッションも予定しています。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

■「第 51 回 国際福祉機器展 H.C.R.2024」マツダ出展概要

- ① 「MAZDA CX-30 Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」(市販予定車)
福祉施設訪問等を通じて得られたお客様の声から、新たな選択肢をご用意いたしました。MX-30 SeDV 同様、リング式アクセル、レバークレーキ、ブレーキサポートボード、移乗ボードなどを装備しています。
- ② 「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」(市販車)^{*1}
リング式アクセル、レバークレーキ、乗降用補助シートなどを装備した車両です。出品車両には運転席に座ったままで屋根上のボックスへ車いすを電動収納できるオートボックス(株式会社 ミクニ ライフ&オート製)^{*2}を装備しました。スライド式の機構により車いすをスムーズに吊り上げ・収納できます。
- ③ 「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle (SeDV)」Driving simulator(ドライビング シミュレーター)^{*3}
Driving simulator では、SeDV に採用した運転システムによる操作感をご体験いただけます。両手でハンドルを握って加速する爽快感を感じて頂けるよう、MX-30 のコックピットに 4K 映像の美しい体験コースをご用意いたしました。

■「パラアスリート × MAZDA トークセッション」 (予定)

2024 年 10 月 3 日(木) 11:00～ 14:00～

■マツダ福祉車両公式ウェブサイト

<https://www.mazda.co.jp/cars/welfare/>

■「第 51 回 国際福祉機器展 H.C.R.2024」公式ウェブサイト

<https://hcr.or.jp/>

以 上

*1 現行モデルはご注文受付を終了しております。販売開始時期はマツダ公式 HP にてご案内いたします。

*2 オートボックスは、株式会社 ミクニ ライフ&オート(埼玉県加須市)の製品です。

*3 株式会社マツダ E&T にて開発